

東松山ケーブルテレビ株式会社

平成 22 年度 第 1 回番組審議会

議事録

平成 22 年 8 月 11 日

制作編成課 岡田 侑

日時：平成 22 年 7 月 26 日（月） 17:00～

場所：3 階会議室

出席委員

番審委員：金子伸行(会長) 壁谷ヒサ子(副会長) 須長桂介 大山裕美 亀井幸一 関和光広

事務局：鈴木豊士(東松山社長) 荻野喜美雄(入間社長) 中岡俊治(局長) 楠見裕(次長)

名古屋武司(制作編成課長) 稲葉栄美 岡田侑

欠席委員

真下章

1. 社長挨拶

本日は大変な酷暑の中をお集まりいただき、大変にありがとうございます。今年度第 1 回目の番組審議会を開催させていただきたいと思います。

6 月にグループ各社、株主総会を通常どおり終えました。おかげさまで東松山ケーブルテレビとしましては、初めて単年度黒字ということで、まずまずの成績を納めさせていただきました次第です。しかしこれは、単年度の結果でありまして、累積損失もありますので、まだまだ一生懸命頑張らなくてははいけません。これからも引き続きご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

本日も社員全員と全体会議を、その後取締役役員会議を行いまして、事業計画に基づいて、どの程度進捗しているかのチェックをしました。しかし、どこの会社でもなかなか厳しいのでしょうかけれども、収入の方がなかなか入りませんで支出の方は余計に出るとい、私どもも大変に苦労しているわけです。

今年は高坂方面の区画整理や東京電力の電波障害施設の拡張工事をしようと考えております。また、入間、瑞穂のエリアで始めている、ケーブルテレビを使った KDDI との協働電話事業も、出来るだけ早く東松山でも行いたいと思います。

地上アナログ波完全停止まであと一年

実は今日は7月26日でありまして、一昨日の7月24日が、ちょうど1年後の地上アナログ波の停止日となります。総務省曰く、完全実施、パーフェクトにやるのだと、意気込んでいるようでしたけれども、なかなか最後の所が厳しいだろうと、思っております。

高齢の方のお宅では、なかなか御理解が頂けず、あるいは集合住宅特に大規模なマンションなどでは、設備が遅れている現状があります。特に埼玉県は集合住宅の遅れが目立っています。また、各家庭にある複数台のテレビが全てデジタルテレビに買い替えられるのかという点や、アナログのまま見たいという声をどのように解決していくかという問題もあります。

放送業界もケーブルテレビ業界も、このデジタル化に対しては莫大な支出を負いつつあるところですが、出来るだけコストをかけずにスムーズな移行が出来るようにしていきたいと思っております。

東松山市長選挙

ちょうど昨日、東松山市長選挙の公示日を迎えました。様子を見てみると、なかなか大変な選挙戦だなどと、感じております。また、市役所に行きますと開票所にカメラを入れてはいけない、などと枠が非常に厳しい現状です。入間の方では開票所にカメラを入れて、手元なども撮ったりしておりますので、そのあたりももう少し情報開示をしてほしい次第であります。

結びに

いよいよ、東松山市からご出資を賜りました。第3セクターとして行政と共に手を携えていけるような雰囲気を作り、市民のみなさまにますますお役に立てたらと思っております。

今日は短い時間ではありますが、ぜひ、貴重なご意見を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

2. 入間社長挨拶

入間局ではもう20年ちかく、選挙速報を放送しています。これに関して、基本的なこととして、公平感を持って放送する、決して間違えてはいけない、という点をおさえています。

私どもは、この選挙期間中に電話調査をいたします。およそ500サンプル、場合によっては1000サンプル。また、当日は朝から出口調査を行います。各投票所に応じてサンプル数を決定し、サンプル数決定後、開票所で1グループ1名、年齢、性別、時間帯をある程度図りながら、これらを集計して予測を出します。ほとんど、間違いがない結果です。

入間の結果では、以前の市長選の81票の差を出口調査でも結果を出したところであり
ます。

ただし、市議会議員の選挙の場合は上位の当確は出しますが、定数の下位5番目くらいま
では最終的な公式発表があるまで出しません。

この事前調査の最終的な集計は私と鈴木で行います。これは、選挙期間中に結果が世に
出ますと、大変な世論工作をするということになりますので、当日までは私と鈴木だけが
知っているということになります。

民意をどのように集計するのか、これは選管だけが知るべきものを、我々が先に調査を
するというものであります。(ので、あくまでもNHKと同じ方法で実施をしています。)

東松山ケーブルテレビという知名度が、果たして幹線が届いていない地域にどれだけ
通用するのか、皆様に協力をいただけるかという点が非常に心配しているところでありま
すが、これから実施していきたいと思えます。

3、番組審議会 会長挨拶

先ほど、鈴木社長からお話があったように、単年度で黒字が出たということで大変喜ば
しいことだと思っております。

また、荻野社長から選挙の話がありましたが、今まで東松山ではそういったことがあり
ませんので、おそらく新しい試みとして市民に喜んでいただけるのではないかと思います。

ぜひ、正確な情報を流していただきたいと思っております。

前回からの課題

I. 視聴者への、インターネットを利用したアンケート調査について

回答 (名古屋課長)

社内にてアンケートシステムの選定を行いました。

○×・質問形式のテスト運用を実施致します。

II. コミュニティチャンネルの電子版番組表 (EPG) 導入について

回答 (名古屋課長)

平成22年度末から順次ハイビジョン化の対応を致します。

それに伴い、EPGの導入も予定されます。

このことにより、簡単予約設定や番組詳細を知ることが出来るようになります。

4、審議

前回の番組審議会が出た意見についての現在の対応状況、またコミュニティチャンネルの現況・充実・番組編成について、資料とビデオを使用し説明を行いました。

■各委員の方からの質問・意見

須長委員：選挙速報に関して、開票を最後まで放送した後、当選者の様子は撮影するのですか？

名古屋課長：当選確定になりましたら、候補の事務所より生中継のインタビューを行うかもしくはVTRを現場から持ち帰り、局舎から放送するという形を考えています。

壁谷委員：選挙の出口調査は何か所行くのですか？

鈴木社長：全投票所で行います。

亀井委員：ケーブルテレビの存在を知らしめるのも、こういった身近な選挙の放送の際にぜひとも、アピールをしていただきたいと思います。様々な事例を示しながら粘り強く、行政の方に働きかけをお願いしていただきたいと思います。

須長委員：視聴者とのコミュニケーションはどのように図っているのでしょうか。特定の番組を指定したアンケートの実施、分析をやってみるのもよいのではないのでしょうか。

鈴木社長：ブログに対する反響はどれだけありますか。コメントの数などは表示されるのですか。

名古屋課長：コメントはブログの左側に表示されます。コメントを残してくれる人はいますが、月に数件程度です。

鈴木社長：携帯電話で東松山ケーブルテレビの今日の見どころなどの情報を配信するサービス『ケーブルゲート』が今月から本格的に始まりました。こういった試みを、随時充実させていきたいと思っています。今、3スクリーン（テレビ・パソコン・携帯）で関連のあるコンテンツを見られるようにしよう、というのが盛んに言われています。これから携帯をどのように使っていくか、これがカギになってくると思います。このケーブルゲートは、日本デジタル配信といわれる、我々が都心から地上波（CS波）を受け取っている会社を中心になっています。東松山もケーブルゲートを利用して、アンケートなどを行い、加入者との双方向のコミュニケーションをとらないといけません。

名古屋課長：秋までにはアンケートを実施出来ればと考えています。

関和委員：JCアワーの放送により、様々な方面からお声掛けをいただき、影響力があるのだなあ、と感じています。

ケーブルテレビも青年会議所も共通する部分として、今後ますます認知度を上げていかなければという点があります。

現在、私どもも様々な事業を展開していますが、動員に困っている部分があります。そこで、企画力が重要であるということや行政との更なるタイアップの必要性も感じています。今後、ケーブルテレビではどのように行政と連携を図っていくのかを、ぜひお聞かせいただきたいです。

荻野社長：私たちとしては、『行政と共に』が基本ですから、批判の番組ではなく、行政が市民に対して影響するものを、我々が応援していくことが1番であると思います。ただし、市民のみなさんの誰が見てもおかしいものがあるならば、それは取り上げていく。『ノイジーマイノリティ、サイレントマジョリティ』という言葉のように、声で声を代弁するという面を我々は合わせ持っているのです。

大山委員：インターネットを利用したアンケートを実施するということですが、それは視聴者や東松山ケーブルテレビのインターネット回線利用者以外に対しても、働きかけをし、充実化を図るのはいかがでしょうか。

また、EPGの導入に関しては、非常に重要なことだと思います。導入によって、確実にコミュニティチャンネルを見る人も増えるでしょう。ケーブルテレビの良さがさらに伝わっていくと思います。

名古屋課長：インターネット回線を利用していない人に対しては、ブログにリンクを張るなどして対応していきたいと思います。

大山委員：働きかけを積極的にしてもらうことで、反応がより集まってくると思います。

荻野社長：入間ケーブルテレビでは、『街に風を起こす』ということで様々な仕掛けをしています。様々なアーティストのコンサート開催や、子どもの相撲大会など。

この街でも、コンサートなど、催しを開催する場合に、ぜひ大山委員のお力を貸していただきたいと思います。何かこの街でも仕掛けたいと思っています。

鈴木社長：音楽だけに限らず、様々な仕掛けをして、楽しい街作りをしていきたいですね。

そういった面でもぜひJCのみなさんともつながりを強化していきたいですね。

関和委員：今年、JCの埼玉県大会を東松山で行いましたが、その際、学生ボランティアと関わる中で、彼らも発表などの場を求めているなということを感じました。今後そういったことも取り入れていきたいと思います。